** 2018 年 11 月改訂(第 3 版)
* 2017 年 08 月改訂(第 2 版) 新記載要領に基づく改訂

認証番号: 228ABBZX00044000

機械器具 (6) 呼吸補助器
管理医療機器 空気・酸素マスク 35171000

再使用禁止

O2Star 空気・酸素マスク

【禁忌・禁止】
使用方法
1. 再使用禁止
2. 酸素吸入時は火気厳禁。[火災の危険。]

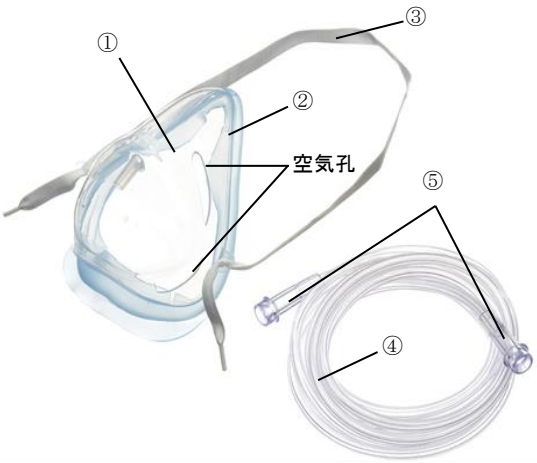
適用対象(患者)
1. 自発呼吸のない患者に使用禁止。
[低酸素症の恐れがある。]

*【形状・構造及び原理等】

1. 外観

次の 2 種類がある。

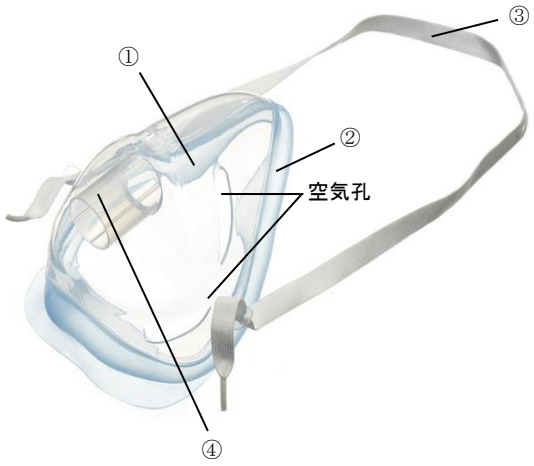
(1) 中濃度酸素マスク
酸素チューブ経由の酸素及びマスクの換気孔から取り入れた空気をマスク内に取り込むことで、患者に中濃度の酸素を供給するマスクである。



サイズ : S, M/L

番号	各部の名称	番号	各部の名称
①	マスクシェル	④	酸素チューブ
②	マスククッション	⑤	酸素チューブコネクタ
③	ストラップ		

(2) エアロゾルマスク
エアロゾル化した水粒子を含む空気・酸素ガスを供給するマスクである。



サイズ : S, M/L

番号	各部の名称	番号	各部の名称
①	マスクシェル	③	ストラップ
②	マスククッション	④	コネクタ

2. 原材料

(1) 中濃度酸素マスク

番号	各部の名称	原材料
①	マスクシェル	ポリプロピレン
②	マスククッション	スチレン系エラストマー
③	ストラップ	ポリアミド及びポリウレタン
④	酸素チューブ	ポリ塩化ビニル
⑤	酸素チューブコネクタ	ポリ塩化ビニル

(2) エアロゾルマスク

番号	各部の名称	原材料
①	マスクシェル	ポリプロピレン
②	マスククッション	スチレン系エラストマー
③	ストラップ	ポリアミド及びポリウレタン
④	コネクタ	ポリプロピレン

【使用目的又は効果】

患者の気道に空気・酸素ガスを供給するために用いる。

【使用方法等】

(1) 中濃度酸素マスク

1. 酸素接続チューブを酸素供給源に接続する。
2. 酸素を供給し、マスクから酸素が出ていることを確認する。各部からの漏れが無いことを確認する。
3. 患者の顔にマスクを装着し、ストラップの長さを調整して固定する。
4. 下表の酸素濃度の目安を参考に、酸素流量を 5 L/分以上、8 L/分以下に調整する。

酸素流量(L/分)	酸素濃度の目安(%)
5	35
6	40
8	50

(2) エアロゾルマスク

1. 本品のコネクタをネブライザ等の加湿装置に接続する。
2. 換気ガスを供給し、マスクから換気ガスが出ていることを確認する。各部からの漏れが無いことを確認する。
3. 患者の顔にマスクを装着し、ストラップの長さを調整して固定する。
4. 酸素流量を調整する。

*【使用上の注意】

重要な基本的注意

1. 使用前に周辺機器と確実に接続する。
2. 酸素接続チューブをルアーロックコネクタに接続しないこと。
   酸素接続チューブは、本品を酸素供給源に接続する場合にのみ使用すること。[ガス漏れ、低酸素症の恐れ。]
3. ストラップを強く引きすぎると、皮膚が炎症を起こす可能性がある。

*【保管方法及び有効期間等】

有効期間

包装上のラベルの使用期限を参照

**【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者: ドレーゲルジャパン株式会社
住所 : 東京都品川区上大崎 2-13-17 目黒東急ビル
電話番号 : 03-6447-7200

設計を行う
外国製造業者: ドレーゲルベルク社
Drägerwerk AG & Co. KGaA (Moislinger)
製造国 : ドイツ連邦共和国

取扱説明書等を、必ず参照すること。